校長室から

ひがしなら通心

（Ｈ３０年度）　茨木市立東奈良小学校　川上　隆　Ｎｏ．２６

平成３０年９月７日（金）発行

防災対策は、地域での関係づくりから

９月１日（土）は、「防災の日」でした。言うまでもなく、日本は地震大国です。地震はいつ起こるか分かりません。２３年前に起こった「阪神淡路大震災」、７年前の「東日本大震災」、２年前の「熊本地震」、今年６月１８日（月）に起こった「大阪北部地震」、昨日の「北海道での大地震」等、多くの地震が起こっています。地震だけではなく、７月の「西日本豪雨」等風水害にも気をつけていかねばいけません。

学校では、防災教育の一環として、避難訓練や地域と共に行う防災訓練等を行っています。また、新しい学習指導要領では、指導内容として自然災害が取り上げられ、防災教育が重視されてきています。社会全体で、防災対策について考えていくだけでなく、実際に行動していかなければなりません。

さて、では防災対策といって何をすればいいのでしょうか。防災対策として、「三助」が言われています。先ずは、自分で自分の命を守る「自助」、そして、家族や地域コミュニティで助け合う「共助」、さらに、国や都道府県、市などの行政による助けや支援である「公助」の三つです。

先ず、災害発生時、自分の命を守る「自助」ができた後、行政からの支援を受けたいところですが、「公助」には時間がかかります。そうなると、大事になってくることは「共助」です。家族にとどまらず、町内会や自治会などの地域コミュニティで助け合うことが必要となります。しかし、見ず知らずの人と一緒に助け合っていくには困難を伴うことも考えられます。だから、地域コミュニティとして、ご近所での挨拶など、しっかりと関係づくりをしておくことはとても重要なことです。是非、共に助け合う相互扶助の視点からも、いざというときに備えて、「共助」の視点から地域での関係づくりをお願いいたします。そう難しいことではありません。



近所の人と会ったら、「おはよう」「こんにちは」と挨拶をする。こうした挨拶を交わすことからの関係づくりを大切にしていってください。そして、子どもにも、そうした意義を伝え、「おはよう」「こんにちは」と、近所の方と挨拶を交わすように促してください。ご家庭での姿勢は、子どもに伝わっていきます。防災対策は、日常の地域での関係づくりにかかっているのではないでしょうか。

ある新聞記事より

８月の産経新聞朝刊より

今年度の全国学力テストの結果が７／３１に公表されました。その中の記事の一つを紹介します。この通心１０号、１１号、１８号にも「新聞を読むほど学力が高い」という関連記事を載せました。本を読むことも同じです。新聞を読むことや読書をすることは、学力を高めるために大切なことです。普段から意識して取組んでください。

新聞読むほど 正答率高く

今回の全国学力テストに伴う児童生徒を対象にしたアンケートでは、新聞を読む頻度とテストの正答率との関係を調査した。文部科学省が分析したところ、新聞を読む頻度の高い方が頻度の低い子供に比べ、全教科で平均正答率が高く、10ポイント以上差が開く教科もあった。

「新聞を読んでいますか」との質問に「ほぼ毎日」「週に1～3回程度」「月に1～3回程度」「ほとんど、または全く読まない」の選択肢を用意し、それぞれを選んだ子供の平均正答率を比較した。

小中学校ともに算数と数学のB問題で差が大きく、「ほぼ毎日」の小6が62・3％、中3が56・5％。これに対し、「週に1～3回程度」の小6は58・4％、中3は54・8％、「月に1～3回程度」の小6は53・2％、中3は50・0％、「読まない」の小6は48・7％、中3は45・8％と、読む頻度が下がると正答率も低くなり、他教科も同様だった。

一方、新聞を読む習慣を前年度と比べると、「ほぼ毎日」は小学校7・5％、中学校5・0％で、いずれも0・5ポイント減。「ほとんど、または全く読まない」は小学校で1・3ポイント増え60・7％、中学校では1・0ポイント増の70・1％だった。

新聞を読む児童生徒の割合と、テストの平均正答率

小学校

新聞を読む頻度	国語A	国語B	算数A	算数B	理　科
ほぼ毎日読んでいる	78.8%	62.6%	72.8%	62.3%	67.1%
週に1～3回程度読んでいる	76.3	60.3	69.2	58.4	64.9
月に1～3回程度読んでいる	72.4	56.3	64.9	53.2	61.5
ほとんど、または、全く読まない	68.4	52.4	61.2	48.7	58.4

中学校

新聞を読む頻度	国語A	国語B	数学A	数学B	理　科
ほぼ毎日読んでいる	80.7%	67.6%	74.1%	56.5%	72.6%
週に1～3回程度読んでいる	80.3	66.8	72.8	54.8	71.9
月に1～3回程度読んでいる	77.9	63.3	68.8	50.0	68.6
ほとんど、または、全く読まない	75.6	60.5	65.1	45.8	65.1

みんなのためのルールブック

「あたりまえだけど、とても大切なこと」　ロン･クラーク　草思社

ルール４４　信じるもののために立ち上がろう

自分が信じるもののために立ち上がろう。

●きみがこれこそ正しい道だと信じるなら、その道を進むのをためらってはいけない。自信をもって立ち上がり、自分の夢を実現するためにたたかってほしい。